

【特許調査の実践】

特許データベースを使って特許調査を試してみる

NRIパテントサイバーパテントデスクで、実際の特許調査に挑戦

第1章 調査目的による、特許検索

1. はじめに
2. 発明創出・テーマ探索のための調査
3. 特許出願時の調査（先行技術調査）
4. 開発・実用化段階における特許調査
5. 事業展開・応用分野拡大に伴う調査
6. 競合他社の開発動向調査
7. 新技術の動向調査
8. 特許戦略のための遡及調査と継続調査（SDI とウォッチング）

第2章 検索項目による、特許検索

1. 検索項目の種類
2. キーワード検索
3. 国際特許分類（IPC）による検索＜IPCとは何か＞
4. FI 記号、識別記号・広域ファセット記号による検索
＜FI・識別記号とは何か＞
5. Fタームによる検索＜Fタームとは何か＞
6. 検索項目間の組み合わせ
7. 出願人、発明者による検索
8. ヒット件数の絞り方
9. 概念検索の使い方

第3章 特許検索の実際(事例)

1. 効率の良い検索（標準検索フロー）
2. 侵害予防調査
3. 技術用語の使い方（同義語の活用）
4. IPC・FI 記号・ファセット記号とキーワードの組合せ

5. 応用分野を特定する検索（IPC・FI記号の活用）
6. 環境保全技術に関連する検索
7. 化学物質関連(医薬品、農薬など) 調査
8. アミノ酸配列関連特許の調査
9. 概念検索の使い方

第4章 検索結果の整理と加工

1. 予備検索の検証と検索結果の整理
2. 特許内容（要旨）リストの作成
3. 検索結果をデータベースにする
4. 権利関係を明確にする

第5章 検索チャート

1. 検索チャートの説明